

NIH からの助成受給臨床試験に関する 2 件の研究、現状改善が必要と提言（12 月 15 日）

カリフォルニア大学サンフランシスコ校（University of California at San Francisco : UCSF）が主導する研究グループとジョンズホプキンス大学（Johns Hopkins University : JHU、メリーランド州）の研究グループはそれぞれ、国立衛生研究所（National Institutes of Health : NIH）からの助成を受給して行われた臨床試験を検証し、その検証結果をまとめた論文がいずれも 12 月 15 日に学術誌に掲載された。UCSF が主導する研究は、NIH からの助成を受給した臨床試験への参加者のうち、人種・民族的マイノリティが占める割合は、1993 年の約 2%から 2013 年には約 5%に増加したに留まり、NIH は、助成受給臨床試験において義務付けられている人種多様性に関する要件を徹底させていないと指摘した。一方、JHU による研究では、企業による資金援助を受けた臨床試験数は 2006 年～2014 年の期間で 43%増であったにもかかわらず、NIH から助成を受給した臨床試験数は同期間で 24%減であると指摘し、信頼性の高い政府助成受給研究数の急減に対する懸念を表明した。これらの研究結果に対し、NIH は、マイノリティの参加が非常に重要な研究においては人種多様性は向上していると主張し、また、予算削減の影響で助成受給臨床試験数が減少したことは認めながらも、臨床試験の効率性向上も試験数減少に関連していると説明している。

なお、UCSF による研究論文は

<<http://journals.plos.org/plosmedicine/article?id=10.1371/journal.pmed.1001918>>から、JHU による研究論文の概要は<<http://jama.jamanetwork.com/article.aspx?articleid=2475454>>から、それぞれ閲覧可能。

The Chronicle of Higher Education, 2 Critiques of Federally Funded Medical Research: Not Enough Diversity, Not Enough Trials

<http://chronicle.com/article/2-Critiques-of-Federally/234625>